



Speaker Box P802-E

このたびは、当社製品をお買い上げいただき
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいた
だきまして、正しくご使用下さい。

主な特長

P802-Eは、低音域再生用ウーハーユニットPW80K / 高音域再生用ツイーターユニットPT20K用の2-WAYスピーカーボックスです。P802-Eは弊社製品スピーカーボックスP2080-Eと異なりネットワーク回路を内蔵しておらず、EN15チャンネル・デバイダー、AP15dパーソナルアンプ×2台などと共に使用して、マルチアンプ方式による豊かな音楽性の再現を手軽に楽しむことができます。組立は簡単で、PW80K/PT20KのSP端子と2つのSPターミナルからの内部配線をそれぞれ接続し、SPユニットに付属しているネジで2つのSPユニットをP802-Eスピーカーボックスに取り付けるだけです。組立完了後は、EN15のクロスオーバー周波数調整つまみ等を使用して、音色の変化を体感することができます。

主な規格

仕様			
形式	: バスレフ型	材質	: PB t12 mm(バツフル)/ t9 mm(天面、底面、側面、裏板)
外形寸法	: 101(W)×195(H)×118(D) mm SPターミナル含まず	仕上げ	: チェリー調
内容積	: 1.4 L	適合ユニット	: PT20K、PW80K
f b	: 90 Hz	付属品	: 取扱説明書/1部
質量	: 0.65 kg		

組み立て

1. 取り付け前の確認

組み立てには、本体以外に下記のものをご用意ください。

スピーカーユニット

ウーハーユニット: PW80K

ツイーターユニット: PT20K

ブラスドライバー(サイズ2番)

取り付けには、必ずPW80K、PT20Kに付属のネジ(PW80K: ネジ×4本、PT20K: ネジ×3本)をご使用ください。

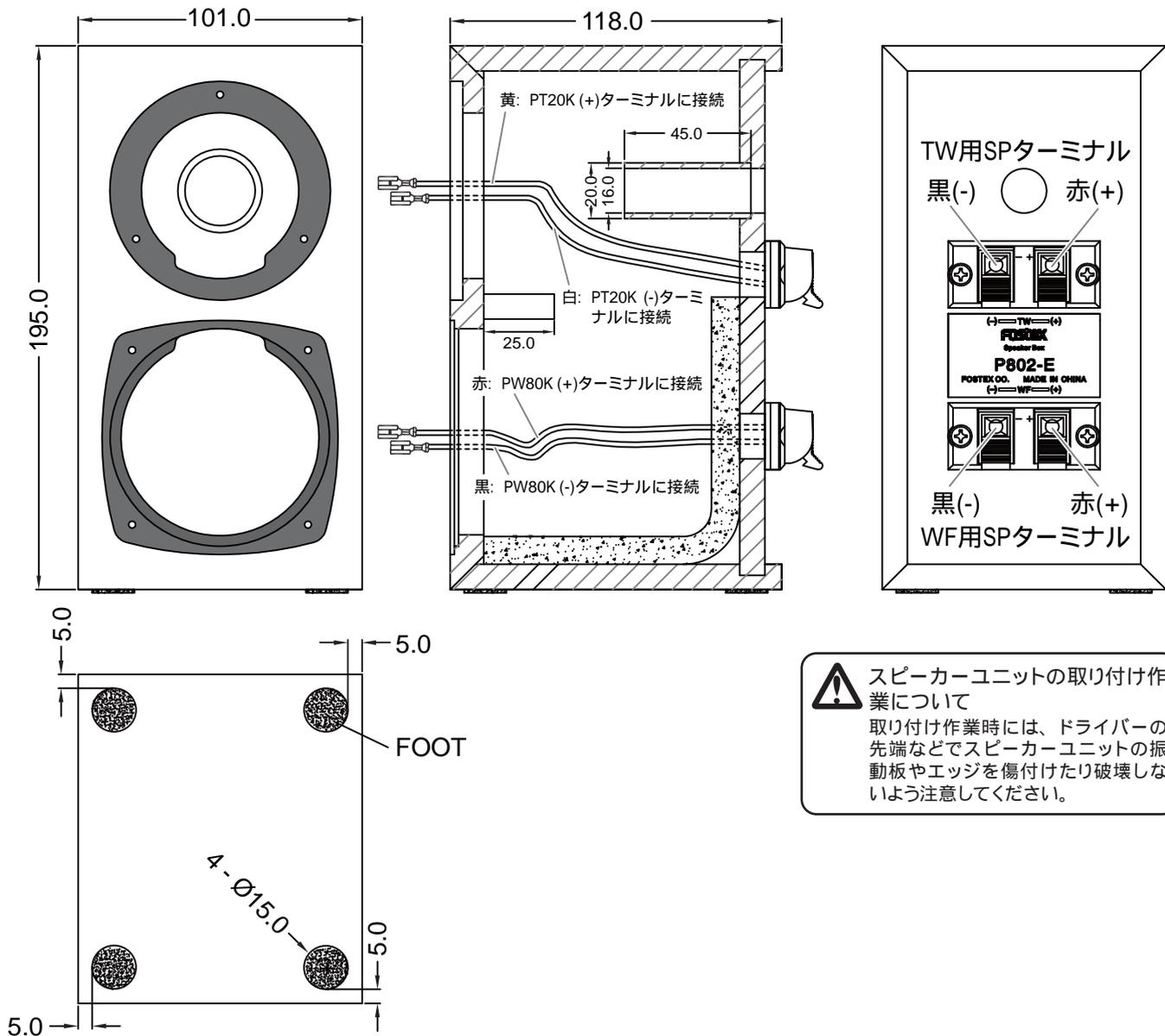
2. スピーカーユニットの準備

PW80Kウーハーユニット、PT20Kツイーターユニットに付属しているパッキンをそれぞれのフレームに貼り付けてください。パッキンは、スピーカーボックスとスピーカーユニットを密着させ気密性を保つ為に必要です。パッキンを使用しないと隙間から空気が漏れてスピーカーボックス本来の性能を発揮することが出来ませんので、必ず装着してください。

3. SPユニットと内部配線コードの接続

次ページの接続図のとおり内部配線コードをスピーカーユニットの端子に接続し、スピーカーボックスに入れます。順番としてはPT20Kツイーターを先に接続した後に、PW80Kウーハーを接続すると良いでしょう。

- | | |
|-----------------------|------------|
| ・ PT20Kツイーター(+)ターミナル | 黄色の内部配線コード |
| ・ PT20Kツイーター(-)ターミナル | 白色の内部配線コード |
| ・ PW80Kウーハー(+)ターミナル | 赤色の内部配線コード |
| ・ PW80Kウーハー(-)ターミナル | 黒色の内部配線コード |



4. スピーカーユニットの取り付け

PW80Kに付属のネジ×4本、PT20Kに付属のネジ×3本を締めて、PW80Kウーハーユニット、PT20KツイーターユニットをP802-Eスピーカーボックスに取り付けてください。

以上で完成です。

接続

EN15、AP15d × 台とP802-E + PW80K / PT20Kとの接続例

AP15dパーソナルアンプを2台使用し、次ページの図のようにそれぞれのAP15dを左右のスピーカーに割り振る接続例を説明します。

- 1) P802-E+ PW80K / PT20KのTW用SPターミナル(上側)とEN15 L出力、P802-E+ PW80K / PT20KのWF用SPターミナル(下側)とEN15 R出力を接続します。TW用SPターミナルとEN15 L出力は、逆相接続(+/- -/+)してください。WF用SPターミナルとEN15 R出力は、正相接続(+/- +/-)してください。
- 2) AP15dの入力端子(INPUT L/R)には、EN15チャンネルデバイダーの出力HI/LO OUT L/Rを接続します。
- 3) EN15の入力端子にはCDプレーヤー等の再生機器の出力を接続してください。

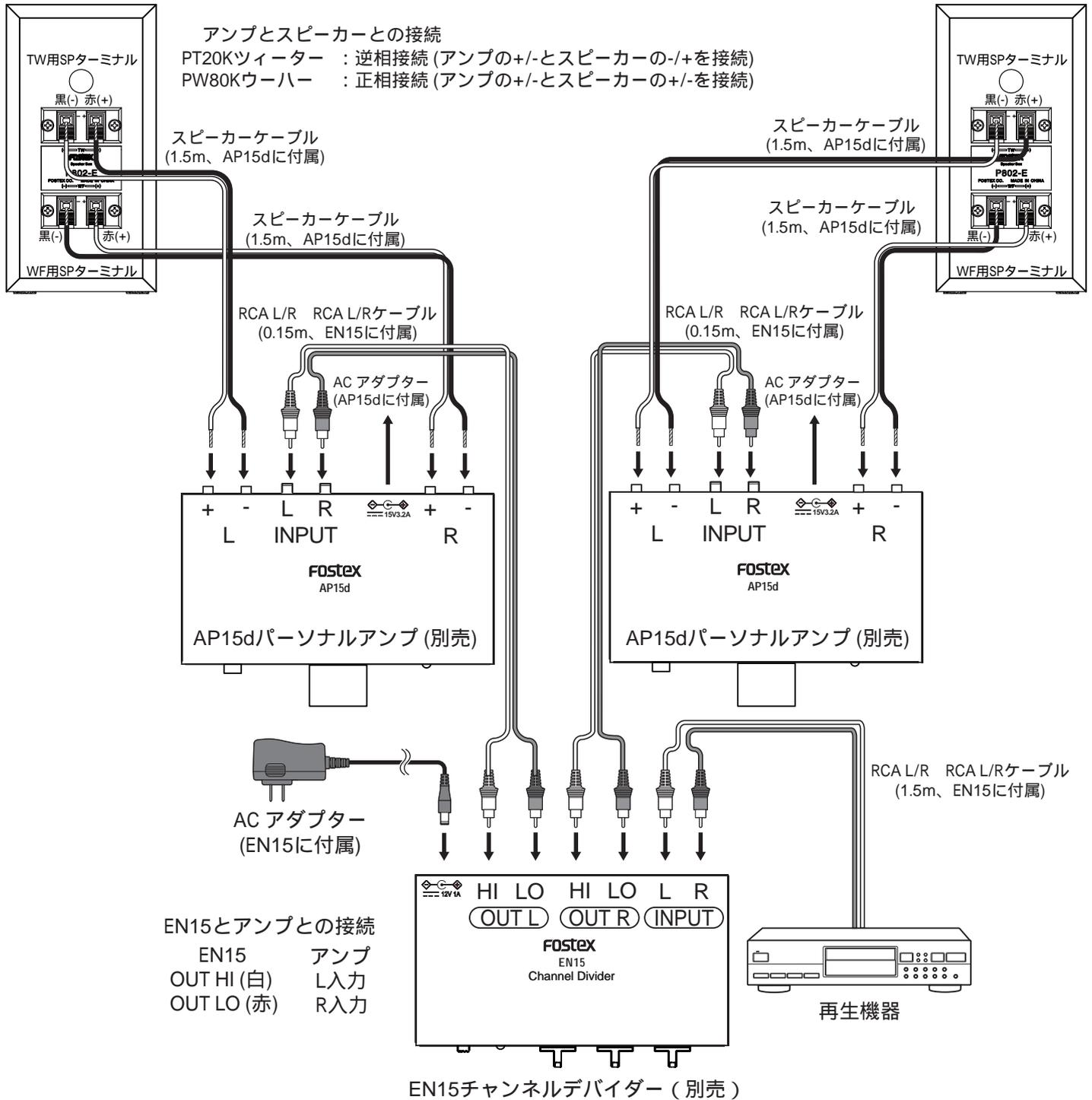
接続(続き)

ご注意

- 全ての機器の接続は、電源がオフの状態で行ってください。
- 接続が完了して電源をオンする時は、各機器の音量ボリュームを最小にしてください。
- 機器間の配線を間違わないようご注意ください。特に、PT20KツイーターをEN15チャンネルデバイダーの[OUT L/R] (LO)が接続されるアンプの出力端子に接続しないでください。スピーカユニットが破損する可能性があります。
- 異なるアンプを使用することも可能ですが、その場合は左右の特性をそろえるために、1台のアンプをツイーター用、もう1台のアンプをウーハー用として使用します。こちらの接続方法については、EN15チャンネルデバイダー取扱説明書をご参照ください。

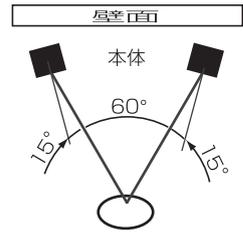
P802-E + PW80K / PT20K

P802-E + PW80K / PT20K



設置方法

スピーカーは、出来るだけしっかりした場所に設置することをお勧めします。スピーカーは正面に向けて設置して、リスニングポイントで約 15° の角度を付けると良いでしょう。厳密に高さを調整する必要はありませんが、スピーカーユニットの位置を耳の高さに合わせると最も適した高さになります。



日常のお手入れ

スピーカーボックスに汚れなどが付いた際には、乾いた柔らかい布で表面を拭いてください。誤って水などが付いた場合、素早く乾いた布で拭き取ってください。

安全上の注意

ご使用前に、必ず本書「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

本書は、お買い上げいただいたフォステクス製品を安全にご使用いただくために必要な「禁止事項」、「注意事項」について、まとめて記載してあります。あなたや他の人々へ与える危害や財産などへの損害を未然に防止するため、本書に記載されている事項をお守りいただくものですので、大切に保管し、いつでもお読みいただける場所に置くようにしてください。

	記号は、注意しなければならない内容（警告を含む）を示しています。具体的な注意内容は の中や近くに、絵や文章で示しています。左図の場合は「感電注意」を示しています。
	記号は、禁止内容（してはいけないこと）を示しています。具体的な注意内容は の中や近くに、絵や文章で示しています。左図の場合は「分解禁止」を示しています。
	記号は、強制内容（必ずすること）を示しています。具体的な注意内容は の中や近くに、絵や文章で示しています。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」を示しています。

警告



機器本体に直接水がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。特に屋外での使用（雨天、降雪時、海外、水辺）にはご注意ください。



電源プラグを抜く

万一煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本製品に接続しているアンプの電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意



接続注意

本機に他のオーディオ機器を接続する場合、接続する機器の取扱説明書をよく読み、必ず電源を切り説明に従って接続してください。また、接続するコードは指定されたコードを使用してください。



禁止

油煙や湯気の当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



スピーカーやホーンを取り付ける場合、必ず付属のネジで確実に固定してください。落下による怪我や故障の原因となることがあります。



過大入力注意

過大入力を加えないでください。火災や故障の原因となることがあります。本製品の規格入力でご使用ください。



取扱説明書は必ず読み、注意事項および使用方法を厳守してください。安全性および性能を確保するために必要です。